

自治基本条例メモ



第17話

お問い合わせ
政策調整課(米原庁舎)
☎52-6626 ④52-5195

さあ、今回は「市の役割」についてだよ。

前に市役所の見学に行ったことがあるよ。

市長やたくさんの方が、いろんなお仕事をしていたわ。

人々の生活にはいろんな形があるから、市役所にはたくさん種類のお仕事があるんだ。

前回、「市役所がしている仕事の中にも、地域や団体でできることもあるんじゃないかな」と言っていたじゃない!

そうさう、もっとういうお仕事がないか、地域や団体のみんなと一緒によに相談すればいいんじゃない?



②

①



企業やお店も、いっしょに協力できたらもったいいよね。

私のお父さんの会社も、お仕事以外に地域のための活動をしているって聞いたわ。

条例ではそのことを「事業者の役割」のひとつとしていってるんだ。

市民、団体、事業者、市役所、それぞれの役割がわかってきたよ。

それぞれの役割を果たし、さらに協力することでまちづくりは進んでいくのね。

まずは、みんなが協力していくためのきっかけづくりが大切だね。

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をレポートします。

「まいばら女子会」を開催しました!

- 女子会は毎月第4水曜に開催。次回は1月25日(水)13時から和ふれあいセンターで開催します。
- 市内在住、在勤、米原市を活動範囲とする団体に所属する女性であれば、どなたでも参加できます。



いろんな分野で活躍する女性の交流・情報交換・ネットワークづくりの場として月に1度女子会を開催しています。11月24日にルッチプラザの粗!一寸で開催した女子会の様子をレポートします。

2回目となる今回の参加者は、米粉パンづくりで「農の匠」の認定を受けられた谷村さんや、これからずっと住んでいく米原をよいまちにしたいという思いから初めて参加された方、市内の公民館の職員の方、特産品開発に携わってこられた方など8人。

自己紹介を終えた後、みなさんは谷村さんが取り組まれている米粉パンづくりの話に興味深々。「名水など特産品を使って米原ならではの米粉パンづくりができる」といったアイデアや、「最近は健康志向なので米粉パンは需要が高い」、「公民館の講座ではパン教室がすごく人気がある」などの意見で盛り上がりました。さっそく今回の交流をきっかけに、公民館でパン教室の開催も実現しよう。

こういった風に、女子会という何気ない出会いと語りから、地域の元気の源がどんどん生まれていきそうな予感がしました。

お問い合わせ 政策調整課(米原庁舎) ☎52-6626 ④52-5195

掲載希望はこちらまで